

第18回「文芸思潮」エッセイ賞 中間発表 一次・二次・三次予選

●第18回「文芸思潮」エッセイ賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。おかげさまで、日本全国から総数一七三編の作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る三月末日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。

北海道

◎「人生に楽なし、でも楽しみ有り在り」 山田恵津子

◎「コスミック・キャンデーズ」 小林宏子

◎「北緯5度の島の原爆人形劇」 高田ひとみ

◎「お菓子の入った、赤い長ぐつ」 配島強子

◎「マドンナはマドンナ」坪田節子

◎「机の中の弁当」青地久恵

◎「見えないものに右往左往」草木 葉

◎「レムとノンレムからの解放」柴田節子

◎「たたむ」中村郁恵

◎「弁当終了」斉藤はな絵

青森県

◎「政治家がいなくなる日」松橋倫久

◎「タラポに導かれて」金田一淳

宮城県

◎「日々是好日」吉田宏子

◎「福島県」鶴賀イチ

◎「里山便り」佐藤悦弘

◎「過去と現在を行き来する」西島雅博

◎「上野公園のホームレス」上野 達

◎「茨城県」寅次郎

◎「無言の絆」田中 修

◎「吉石衛門の思い出」

◎「母の通信教育」

◎「栃木県」たこみ

◎「どうする、私!？」

◎「怪物と拉致」

◎「富山県」

◎「褒め上手」

◎「別れの悲しみ」

◎「愛生傳命」

◎「石川県」

◎「GUTAI」展と抽象画の楽しさ

◎「二足の草鞋を履く二刀流」医学編

◎「鎌打ち神事から始まる」

◎「福井県」

◎「あっちゃん、前を向いてーばあ

◎「意外なメッセージ」

◎「山梨県」

埼玉県

◎「戦争が遺した日本」宮下博吉

◎「雑感、または思い出出す事」

千葉県

◎「元新卒の逃走」

◎「令和は身軽であれ」

◎「母の贈り物」

◎「取捨選択の話」

◎「おーい、元氣かい」

◎「山の師匠」

◎「時代おくれ」に目覚める」

◎「ママ、ありがとう」

◎「かつては手話通訳者が要約筆記をしていた」

◎「カナリア」

◎「マンシヨンの大規模修繕が終わって」

◎「住まば都 住めば都」

◎「卒寿祝いで約束」

◎「祖父から最後に聞いた言葉」

◎「海を眺めていた」

◎「海風に吹かれながら」

◎「愛知県」

◎「不婚」

◎「絵描きの青春」

◎「幸せのカタチ」

◎「春風を纏った服」

◎「女ともだちー同志」

◎「習い事の効能」

◎「では、また」

三重県

◎「読書できない!」

◎「病室に差し込む光」

滋賀県

◎「祖母の葬儀」

◎「無尺燈」

◎「骨を拾う」

◎「コロナと共に」

◎「病同・秒同」

◎「風の盆」

◎「輪っかぽっぽ」

◎「夜道」

◎「愛のカタチ」

◎「浮気がバレそう」

◎「闘病に感謝」

◎「レーゾンデートルと使命」

◎「小さい祥ちゃんは社長さん」

◎「生死をさ迷った、あの頃」

◎「者差し」

◎「冬の終わり、春の始まり」

◎「今、このときをありがとう」

◎「東海道および北陸新幹線の思い出」

◎「コキ」

◎「初老の電車男の懺悔」

◎「毛がに」

◎「眼、あるいは光について」

◎「カタファイの国のヌエジ」

◎「古代・洛東江の畔」

大阪府

◎「迂回して、秋」

◎「家族と推し活」

兵庫県

◎「いのちの燈火」

◎「ヒトリ生きるカナシ」

◎「誰のマジック」

◎「食べることで考えること」

◎「ダイエットじゃなくてサバイバル」

◎「適当な夢」

◎「ボンデギな夜」

◎「ケーキー切れの悲しみ」

◎「双眼鏡」

◎「わたしが統一教会に通っていた頃」

◎「エミリーの慧眼」

◎「母と娘」

◎「どん底の刻」

京都府

◎「神の地に人の道あり」

◎「訛りと方言、丸出しで」

◎「家族について」

◎「ささやかな人生」

◎「手」

◎「旅の終えどき」

◎「新温泉」

◎「夢電話」

◎「旅の終えどき」

◎「旅の終えどき」

第18回文芸思潮エッセイ賞予選通過者発表

◎「バイク修理」 村 隆
◎「マンガーの実のなる村で」 中西淳子
「子ども以上、大人未満」清沢薫
◎「暗然たる世界に差し込む一筋の光」 木下ゆかり
「走馬灯記録装置の特許を取りたい」 岩澤ひら
◎「いいよ」 武藤蓑子
◎「神奈川県」 松原泰子
◎「褐色の世界 ベルベル人」 松原 進
◎「小児科医の願い」 小原みなみ
◎「タンゴの魂、それは私の人生」 次女
◎「父と競馬」 香山マリエ
◎「十度目の夏」 香山マリエ
「人、それぞれの価値観」先斗政彦
「野球少年だった私の一番の試合」 福井雅人
◎「人生の同志」 風早 爽
◎「絶望から希望へ」 小倉一純
◎「私のものがたり」 相澤真理子
◎「軍国少年」の遺言」 ゴルビー長田
◎「きょうだいトップの長女の役割」 横井純子
◎「夢電話」 山田じゅんた
◎「旅の終えどき」 渡 遊人

◎「障害がもたらす家族の絆」 いったちゃん
◎「寝によりそう花ことば」 伊藤フサ子
◎「群馬県」 高尾周一
◎「孤高ー亡き師を偲ぶー」 村松佐保
◎「埼玉県」 青海光
◎「戦争が遺した日本」 宮下博吉 九条之子
◎「雑感、または思い出出す事」 藤澤大地
◎「鈴木信一」 光希
◎「丹波蔵堂」 小室澄江
◎「元新卒の逃走」 河上美智子
◎「令和は身軽であれ」 三日月李衣
◎「母の贈り物」 小笠原 亨
◎「取捨選択の話」 茅沼
◎「おーい、元氣かい」 伊手人首麻呂
◎「山の師匠」 馬場岩ひろし
◎「千葉県」 平野靖雄
◎「時代おくれ」に目覚める」 白いねずみ
◎「ママ、ありがとう」 横山典子
◎「かつては手話通訳者が要約筆記をしていた」 藤安珠園
◎「カナリア」 牧 康子
◎「マンシヨンの大規模修繕が終わって」 秋葉みのり
◎「住まば都 住めば都」 平岡佐一郎
◎「卒寿祝いで約束」 山口和花菜
◎「祖父から最後に聞いた言葉」 馬込太郎
◎「海を眺めていた」 室伏三鶴
◎「海風に吹かれながら」 青木美子
◎「愛知県」 長坂弥生
◎「不婚」 千代田さん
◎「絵描きの青春」 小倉一修
◎「幸せのカタチ」 菱川町子
◎「春風を纏った服」 宮尾美明
◎「女ともだちー同志」 高倉麻耶
◎「習い事の効能」 天城囀一
◎「では、また」 りり
◎「カーテンの裏側」 雲海倫
◎「桃太郎」がつかないだ学びのバト」 水越晴子
◎「三重県」 木村敬子
◎「読書できない!」 棘丸みのる
◎「病室に差し込む光」 宮西和代
◎「祖母の葬儀」 本澤 章
◎「無尺燈」 船岡銀杏
◎「骨を拾う」 西川かつみ
◎「コロナと共に」 山田まさ子
◎「病同・秒同」 比留間 進
◎「風の盆」 高尾周一
◎「輪っかぽっぽ」 青海光
◎「夜道」 九条之子
◎「愛のカタチ」 藤澤大地
◎「浮気がバレそう」 光希
◎「闘病に感謝」 小室澄江
◎「レーゾンデートルと使命」 河上美智子
◎「小さい祥ちゃんは社長さん」 河上美智子
◎「生死をさ迷った、あの頃」 黒岡 實
◎「者差し」 tete
◎「冬の終わり、春の始まり」 中澤真央
◎「今、このときをありがとう」 紫 陽花
◎「東海道および北陸新幹線の思い出」 野宮健司
◎「コキ」 伊門 朔
◎「初老の電車男の懺悔」 所 太朗
◎「毛がに」 姉齒浩一
◎「眼、あるいは光について」 川崎雄司
◎「カタファイの国のヌエジ」 竹中水前
◎「古代・洛東江の畔」 崔宜業
◎「迂回して、秋」 星ヶ丘七恵
◎「家族と推し活」 津森悠平
◎「いのちの燈火」 森崎律子
◎「ヒトリ生きるカナシ」 田中美晴
◎「誰のマジック」 湯浅ひとし
◎「食べることで考えること」 高杉晋太郎
◎「ダイエットじゃなくてサバイバル」 永井日菜
◎「適当な夢」 今井清賀
◎「ボンデギな夜」 藤野璃子
◎「ケーキー切れの悲しみ」 吉原あやこ
◎「双眼鏡」 山田まさ子
◎「わたしが統一教会に通っていた頃」 歳空
◎「エミリーの慧眼」 丸山 史
◎「母と娘」 名嘉山レイ
◎「どん底の刻」 三木亮介
◎「兵庫県」 よまひこ
◎「神の地に人の道あり」 秋庭岩男
◎「訛りと方言、丸出しで」 山田菜里

- ◎「十八歳二ヶ月の苦惱」Samon
- ◎「団塊の世代からいたたくエナジ
- 1」 森田 真
- ◎「ねじれの位置からいろいろ想像
- してみた」 ふじもとなおこ
- ◎「イヤホンが便所に流れた時の
- 話」 白田イルマ
- ◎「墓をさがす」 高木敏克
- 奈良県
- ◎「黒い木」 中牟田智子
- 島根県
- ◎「被災地での約束」 桜さく
- 岡山県
- ◎「すて塩」 家森澄子
- ◎「冬の日に」 佐藤光基
- 広島県
- ◎「彼の故郷に私はいない」坂本崇
- ◎「私の食欲」 石橋いづみ
- 山口県
- ◎「君と交わすパラダイムシフトの
- 話し」 晴野康史
- 徳島県
- ◎「トンネルの向う」 虎姫
- ◎「芸術の世界」 佐田真紀
- ◎「ジャンケンで」 熊谷和代
- 香川県
- ◎「私たちの春」 高島 隼
- ◎「顔のない音楽の時代」中川 隼
- 愛媛県
- ◎「ばるふいー」 比戸 圭
- ◎「ふうちゃんと八重桜」水野英子
- 福岡県
- ◎「最後の日々」の夫の言の葉、そし
- て私は」 田浦チサ子
- ◎「喪失したもの」 西尾 吉
- ◎「絶対支持率」 柳沢河童
- ◎「母と娘と、そして私」武中 彩
- ◎「神の石」 岡 大吉
- 「僕の先生」 安部としき
- 「古からのメッセージ」 三原みやび
- ◎「小さな握りこぶし」 はるひ
- ◎「ロシアのプーチンを咎める」 下村成昭
- ◎「私の好きな深蒸し茶をどうぞ」 山野冬花
- 長崎県
- ◎「最後の面会」 福田哲也
- ◎「地図が読めない女」 並樹澄空
- 宮城県
- ◎「ふたりの最終章」 中武 寛
- ◎「懺悔しました」 こもだ 一郎



エッセイ賞応募者の皆様へ 第一次・第二次・第三次の選考基準について

●第18回「文芸思潮」エッセイ賞への御応募まことにありがとうございました。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次の選考基準は、他者に対して伝わる文章になっ

てい

また第二次予選は、その中でさらに強く何が感

残るようなものがある

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほ

は、だいたい雑誌に載って

今年第18回も三次予選通過者が多く、応募作品

もっと詳しく御自分の作品への感想・批評がお

「文芸思潮」エッセイ賞選考委員会

広告承ります

文芸思潮の読者に 文学愛好者に  
知らせたい情報を掲載します

広告掲載料 文芸思潮●発行部数 1000 部

|        |         |              |
|--------|---------|--------------|
| 1P     | 2万5000円 |              |
| 1 / 2P | 1万5000円 |              |
| 1 / 4P | 8000円   | 1 / 6P 5000円 |
| 表4カラー  | 12万円    |              |
| 表2・表4  | 8万円     |              |

その他御相談に応じます。ご連絡ください。

文芸思潮広告部 ☎ 03-5706-7847 mail: bungeisc@asiawave.co.jp

小説の書き方を体験を踏まえて丁寧に解説する小説指導書

小説の書き方

——作家を志す人のために——

五十嵐 勉

税込1000円 御注文はアジア文化社まで